

26	オリンピック・パラリンピック準備局	ラグビーワールドカップ2019 TM の準備
事業概要	<p>ラグビーワールドカップ2019TM(以下「2019年大会」という)は、ラグビーのナショナルチーム世界一を決定する世界的な大規模スポーツ大会であり、平成31年9月20日から11月2日まで、東京をはじめ全国12都市で開催される。</p> <p>2019年大会は、スポーツ都市東京を世界にアピールするとともに、都民のスポーツへの関心を高める絶好の機会となる。</p> <p>また、2019年大会の会場となる東京スタジアムは、多摩地域のスポーツ拠点であり、翌年の東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会では7人制ラグビー会場ともなることから、東京におけるラグビーの普及振興を図ることができる。</p> <p>2019年大会と東京2020大会を一体的なものとしてとらえ、両大会共通の課題について戦略的に準備を進めていくことで、2019年大会の取組を東京2020大会につなげていく。</p> <p>2019年大会開催に向けて、オリンピック・パラリンピック準備局は、庁内各局、公益財団法人ラグビーワールドカップ2019組織委員会(以下、「RWC2019組織委員会」という。)、公益財団法人日本ラグビーフットボール協会、他の開催自治体、地元市などと連携し、着実に準備を進めている。</p>	
これまでの経過	<p>平成21年7月28日 ラグビーワールドカップ2019TM(RWC2019TM)の日本開催が決定</p> <p>平成26年10月21日 都がRWC2019TMの開催都市に立候補</p> <p>平成27年3月2日 都がRWC2019TMの全国12の開催都市の一つに決定</p> <p>平成27年7月17日 新国立競技場の建設計画の見直しを表明</p> <p>平成27年9月18日 ラグビーワールドカップ2015(RWC2015TM)が開催</p> <p>平成27年9月28日 RWC2019TMの新国立競技場に代わる都の開催会場として東京スタジアムが決定し、併せて開会式及び開幕式の東京スタジアムでの開催が決定</p> <p>平成27年10月27日 RWC2019TMの大会マーク(トーナメントマーク)及び開催期間が決定</p> <p>平成28年1月29日 東京スタジアムを会場としたRWC2019TM東京都開催分に伴う経済波及効果の試算を公表(約824億円)</p> <p>平成28年4月18日 ラグビーワールドカップリミテッドによる東京スタジアム視察</p> <p>平成28年5月19日 RWC2019TM開催都市マーク等が決定</p> <p>平成28年5月24日 RWC2019TM公認チームキャンプ地の選定プロセスが公表</p> <p>平成28年6月17日 東京スタジアムの会場周辺及びアクセス検討プロジェクトチーム設置</p> <p>平成28年6月18日 ラグビーテストマッチ(日本代表対スコットランド代表)にあわせ、パブリックビューイングを実施</p> <p>平成28年6月25日 東京スタジアムでラグビーテストマッチ(日本代表対スコットランド代表)が開催、同スタジアム周辺でラグビーフェスティバル2016&TOKYOを開催</p> <p>平成28年8月1日 RWC2019TM公認チームキャンプ地募集の受付が開始(～同年12月22日)</p> <p>平成28年9月20日 RWC2019TM開催3年前を記念し都庁舎等でライトアップ実施</p> <p>平成28年10月3日 RWC2019TM開催3年前を記念しRWC2019組織委員会事務総長、アンバサダーが都知事を表敬訪問</p>	

	<p>平成 28 年 11 月 5 日 ラグビーテストマッチ（日本代表対アルゼンチン代表）にあわせ、パブリックビューイングを実施</p> <p>平成 28 年 12 月 24 日 RWC2019[™]開幕 1000 日前イベントを開催及び東京タワー等でライトアップを実施</p> <p>平成 29 年 1 月 7 日 ジャパンラグビートップリーグ（サントリーサンゴリアス対東芝ブレイブルーパス戦）で小中高生向け観戦招待を実施</p> <p>平成 29 年 1 月 11 日 RWC2019[™]公認チームキャンプ地応募状況発表、全国で 76 件 90 自治体が応募、うち都内では 3 自治体が応募</p> <p>平成 29 年 1 月 27 日 都内のラグビー関係のイベント・試合等の情報を集約したホームページ「東京都ラグビー情報」を公開</p> <p>平成 29 年 2 月 27 日 ラグビー絵本「はじめてのラグビー教室」を作成。都内の公立・私立の小学校や、都立・区市町村立の図書館に配布</p> <p>平成 29 年 3 月 10 日 RWC2019[™]における東京スタジアムの会場運営計画を策定</p> <p>平成 29 年 4 月 26 日 RWC2019 組織委員会と東京 2020 組織委員会が両大会成功に向け協定を締結</p> <p>平成 29 年 5 月 10 日 RWC2019[™]のプール組分け抽選会開催にあわせ、都庁舎でパブリックビューイングを実施</p> <p>平成 29 年 6 月 24 日 東京スタジアムでラグビーテストマッチ（日本代表対アイルランド代表）開催、同スタジアム西競技場で東京ラグビーファンゾーン 2017 開催</p> <p>平成 29 年 9 月 18 日 RWC2019[™]大会 2 年前イベントを開催及び東京スタジアム等でライトアップを実施</p>
現在の進捗状況	<p>1 試合会場の提供 ラグビーワールドカップ運営受託会社のラグビーワールドカップリミテッド（以下「RWCL」という）により平成 28 年 4 月に行われた東京スタジアム視察を踏まえ、RWC2019 組織委員会と会場運営計画を取りまとめ、平成 29 年 3 月に RWCL に提出した。平成 29 年度は、会場運営計画の更新に向けた調整を進めるとともに、スタジアムの改修整備計画を取りまとめ、改修工事の実施設計を進めている。</p> <p>2 交通アクセス 平成 28 年 6 月に東京スタジアムの会場周辺及びアクセス検討プロジェクトチームを設置し、2019 年大会時の東京スタジアムへの交通アクセス、試合会場周辺の土地活用について、課題の検討を関係団体と連携し進めている。平成 29 年度は、2019 年大会時の交通輸送に係る計画の策定に向けた検討を行っている。</p> <p>3 公認チームキャンプ地 公認チームキャンプ地は、大会期間中にチームが滞在するキャンプ地で、RWC2019 組織委員会が選定プロセスを一元管理している。都は、誘致主体である都内区市町村に対し、適時適切に相談・情報提供をきめ細かく行うとともに、平成 29 年度は、区市町村によるキャンプ地誘致の取組を支援するため、区市町村スポーツ施設整備費補助を拡充し、公認チームキャンプ地及び事前チームキャンプ地の施設整備のための工事について補助対象とした。</p> <p>4 気運醸成 大会の認知度向上及び大会開催の気運を高めるため、ラグビーに関心のない層をはじめ、多くの都民・国民に興味を持っていただけるように、大会のプロモーションを実施</p>

	<p>している。</p> <p>平成 28 年 10 月 3 日には、大会開催 3 年前を記念し、RWC2019 アンバサダー等が都知事を表敬訪問するとともに、平成 28 年 12 月 24 日には東京タワーで開幕 1000 日前イベントを開催した。</p> <p>平成 29 年度は、6 月 24 日に東京スタジアムで開催されたラグビーテストマッチにあわせて、他の開催都市や地元自治体等とも連携し会場周辺でラグビーイベントを実施した。また、9 月には、大会 2 年前を記念したイベントを実施した。さらに、2019 年大会時のファンゾーン候補地や都市装飾等についても検討を行い、ファンゾーン運営に係る計画等の策定を進めている。加えて、都主催のスポーツイベントやラグビーの試合などの機会を捉え、2019 年大会のプロモーションやラグビー体験を行うとともに、ホームページや SNS を活用し積極的な情報発信に努めている。</p> <p>5 ボランティア</p> <p>RWC2019 組織委員会が募集する大会ボランティアについて、都は運営の支援を行う。また、会場の最寄駅周辺などで交通案内等を行う「開催都市ボランティア」について、都は RWC2019 組織委員会と連携し、募集・育成を行い、2019 年大会における経験を翌年の東京 2020 大会につなげていく。</p>		
<p>今後の見通し</p>	<p>平成 29 年 11 月 試合日程発表／チケット概要発表</p> <p>平成 30 年 チケット販売開始／ボランティア概要発表・募集開始／開幕一年前イベント</p> <p>平成 31 年 9～11 月 ラグビーワールドカップ 2019</p> <p>2019 年大会を成功に導くため、庁内各局、RWC2019 組織委員会及び関係団体と連携し、試合会場の提供、交通アクセス、セキュリティ、ファンゾーン、ボランティアなどの大会準備を着実に進めるとともに、大会開催気運の醸成を図る。</p>		
<p>問い合わせ先</p>	<p>オリンピック・パラリンピック準備局スポーツ推進部調整課</p>	<p>電話</p>	<p>03-5320-7790</p>